

2018年度

ファシリテーターフォローアップミーティング

実施報告書

うえだみなみ乳児院

【第1回 ファシリテーターフォローアップミーティングの開催】

実施日：平成30年6月2日（土）10:30～16:00

実施場所：敬老園本部2階第3会議室

参加人数：16名

SV：松崎 桂子先生・上鹿渡 和宏先生

参加者：第2回・第3回ファシリテーター養成コース受講者とFCP実施関係者

<内容>

○長野県・宮城県・山梨県からの実践状況の報告

➤ 長野県（10:55～11:35）

- ・出席率99%、途中一人体調不良で欠席となっている。
- ・ファシリテーター2名と補助者4名
- ・家庭訪問8月下旬より実施
- ・途中ファシリテーターが1人事情で休み、広域の仲島さんに入ってもらった。
- ・最終回はプレゼントやお菓子を持ち寄り和やかな雰囲気。
- ・ファシリテーターが役割分担をして、担当の所は読み込みかなか入念に準備をしていた。
- ・7と8で休みを入れて、休憩できたようで休みを入れて良かった。
- ・夫婦でフォスタリングの話をして、会話を増えた様子。
- ・長野は距離が遠い人もいるために、おもてなしは入念にした。
- ・時間配分は難しく、グループワークは長く他の所は簡潔に出来るようにする。
- ・アフターセッションの様子 参加者一人怪我で休み。
- ・FCPと同じ場所と同じ席にしている。
- ・参加者が交流できるように休憩は20分と長めにとっている。
- ・自由に語る時間を設けたことが良かった。
- ・タイムアウトが時間がたってから振り返りをすると、自己流や考え方が変わっていて伝えるのが困難だった。
- ・アフターセッションは里親さんからの希望も多いが、準備等があり開催したいが難しいために課題となっている。お茶会でも良いのではと思うが、アフターセッションのあり方を考えていきたい。

➤ 宮城県

- ・二年目 実施主体
- ・後期は学校行事が多く、日程をとることは難しく早めの実施をしている。
- ・広報は早めに4月～家庭訪問を考えていたが、参加者一名のみであった。
個別に声を掛けて、最終4月頭でギリギリ参加者が決まった。8名 養子縁組2名、養育里親一人、ファミリーホームが4名、補助者が二名、パートの人も参加
- ・土地柄か自分から手を上げない人が多い。
- ・5月～FCPを実施
去年が場所が無く、5月は施設の異動があり、養護施設の空いた部屋を使った。
- ・ファシリテーターは今年は3名で勧めることになる予定であったが、一人できないという方もおりその

人はサポート役でなんとか入ってもらおう。サポートもできないと申し出があり、他をあたり確保できた。ファシリテーター二名行う。

- ・開催準備。三人で家庭訪問。顔を合わせていないとやりずらいために、みんなで行くと良い。チラシからより細かい説明があると良い
- ・場所がとても狭い。参加者が落ち着けるように工夫したい、休憩は別室にする。休憩室ができると時間まで会場に来ない人が多く、交流がなかなかできず声を掛けて会話の糸口をつくるようにした。
- ・事前の準備がスムーズにできていた。前の日に一日、無理なら半日で打ち合わせをしている。
- ・参加者について、ファミリーホームの人が多くしゃべり慣れている人が多い。
- ・課題のシートを記入してもらっているが、みんなしっかりと書いてくれていて、返却する時にお話しすることが出来る機会がある。
- ・ファミリーホームの補助者の人がメモを集中的にしており、対応を考えていきたい。
- ・参加者 聴覚障害の人がおり、補助の人も参加してくれていた。対応を丁寧にしたが、狭いために声が通るためによく聞こえるようで問題なく受けている。気分転換が仲に入れないことが多かったようで配慮すればよかった。その人自身ネガティブだったが、前向きになった様子を伺えた。
- ・セッション5 役割分担。
- ・フォローアップのご案内 4か月に一度行っている。
- ・一度は勉強や振り返り、2回目はゆっくり話をしてもらおう時間を設けている。1回目と2回目の方を途中から一緒に合わせて行いたいと考えている。

➤ 山梨県

- ・実施主体は児相 ファシリテーターが2名 見学1名 児相も補助に入ってもらおう予定。
- ・会場は児相の会議室 広い空間
- ・参加者女性5名 男性1名 里親5名 ファミリーホーム1名
- ・参加者はいるが、事情によって不参加の人も所々、、、
- ・共稼ぎの家が多かったり、遠方の方が多かった。仕事が休めないという理由もあり。
- ・2日で6世帯の家庭訪問をした。
- ・予算は全くなしで通らず。児相と協力をしてもらいながら準備を進めた。
- ・今後の予定 フォローアップを計画していく。
- ・里親によって反応や雰囲気が違う。シールをしてもなかなか喜んでくれない、、、おとなしいと思う。
- ・待っていても意見は出ないために、工夫をして全員意見を言ってもらおうような形をとっている。
- ・課題は里親会にFCの説明をしていないために、どういう形で伝えるのか検討。

☆養育間の違い（スキルによっては抵抗をする・やってきたことを否定されていると感じる人も）

→ファシリテーターが伝えるよりも、周りの里親さんに意見を振ってもらおうこともする。ファシリテーターが伝えるよりも里親さんに振ることでマイルドになる。

養育間が違う人に対して、自分の考えを変えることはとてもつらいことでもあるために、すぐに考えを変えることはしないようにしても良いのでは。

人の意見を聞くことで、お互いの良さを認め、尊敬し合う場面もありグループの良さがある。

☆欠席の多い里親さんについて（セッションに対する抵抗ではない）

→電話をしたりしてサポート。

3回は良い。4回は要検討。5回目はアウト。セッション4は必ず出席をしてもらおうように。

☆共稼ぎの里親について（参加者の洗礼について）

→土日開催の希望もあるが、子どもと関わる時間を削ってまでやるのか？検討事項。

イギリスは夕方開催をしているところも。

○進捗状況報告

➤ 東京都

- ・フォローアップ昨日2時間で行った。（少し短いと感じた）
- ・遅刻をする人は常に同じ人だった。
- ・ファシリテーター2名・補助1名（資料配り）
- ・乳児院担当の里親がいたために家庭訪問も問題なくできている。
- ・東京の里親更新は二年に一回受けなければならない。FCを受けることで更新研修が終了になっている(?)
- ・前半後半でざっくり分けて、担当じゃない時には補助を行っている。
- ・ロールプレイができない人がいて、項目によっては変えながら工夫している。
- ・休憩場所がある。お茶等は休憩場所ですべてだった。
- ・振り返りの所だけ来ない人が居たために、どうしたら来てもらえるか考えながら対応。
- ・フォローアップは1・2回受けた人が合同で出来るように考えている。

☆座る席は毎回変えていることについて

→工夫をしながら変えている。大幅に動かすことはない。苦情はなかった。

➤ 横浜市

- ・9月～行う予定になっている。
- ・横浜は里親会100組 里親会に入っていない人は50組 計150組
- ・案内は横浜市から広報している。
- ・ファシリテーターは3名。児相の心理士の方には謝礼金2時間で2000円。

➤ 長野県（東北信地区／中南信地区）

- ・昨年度はうえだみなみで開催。今後は中南信地区もおこなっていく。
- （東北信地区）
- ・実施場所は前回と同じ恵愛で
 - ・実施体制は4名でローテーションをしながら行っていく。補助者2名
 - ・中南信地区より一周早く開始する。中南信は一度オブザーバーとして見てもらう。
- （中南信地区）
- ・場所は諏訪市を検討したが、伊那市が参加者の便が良く。伊那市で開催する。市外の主査だとかなりカ条を取るのにお金がかかるとのことで、伊那市に文章の説明を出したことで無料で借りられることになった。
 - ・東北信と協力しながら進めていく。里親さんの参加者についても、広域と連携しながら行う。

➤ 長崎県

- ・基礎研修・更新研修・ペアレントとレーニングを行っている。
- ・今まではCSPを行っていたが、開催の内容が難しいためにFCPを行う。

- ・登録里親42世帯 日程を決めて送っていて、来週発送予定のために参加者は不明。
- ・里親さんから告知をしているために、詳細を知りたいと言う人も多く里親総会に貼っていた。
- ・里親サロンで短時間でセッションの様子を見せて理解をしてもらえるようにする。
- ・ファシリテーターは3名で、補助員を多く考えている。

○質疑応答

- ・受講者の人数について
12回の日程を確保したいので早めに日程を伝えて欲しいと里親さんに言われたことがある。
- ・受講者の対象
更新研修などで入ってくると事業としてできるために、予算がでて続けられることが出来るようになる
と良い。
- ・12歳以上の実施について
ファシリテーターは受けなくても良い。あまり内容に変わりはない。
- ・準備に時間がかかり不安がある
訂正がある場合にはメーリングリストで共有しながらチェックしていく。
- ・記録方法（時間配分について）
タイムキーパーが居ると良い。補助の方をお願いするのも良いが、目立つと里親も意識してしまう。
- ・会場の手配について
会場代わり里親さんに変化があったことはなかった。
- ・児相で受けてくれた人が今は一人しかいない。
児相の4Sは移動が無いために、その人をお願いしていくのが良い。

○その他

- ・ファシリテーター名簿の作成と共有について
- ・メーリングリスト作成について
- ・第2回ファシリテーターフォローアップミーティングについて

【第2回 ファシリテーターフォローアップミーティングの開催】

実施日：平成30年11月23日（金）10:30～16:00

実施場所：上田駅前ビルパレオ2回共用会議室

参加人数：22名

SV：松崎 桂子先生・上鹿渡 和宏先生

参加者：第2回・第4回ファシリテーター養成コース受講者とFCP実施関係者

<内容>

○和歌山県・静岡県・福岡市・三重県・東京都・長野県（東北信、中南信）の実践状況報告

➤ 和歌山県

- ・事前に計画をして里親さんに声を掛けた。スムーズに決まった。

- ・参加者 6 人 3 歳から 11 歳の委託中の里親さんに行なった。ファシリテーターは二人で多忙だった。
- ・参加者のパートナーにもプログラムの理解を得るために、毎回プリント（パワポ資料？）を配布していた。FCP の休憩中に写真などを印刷して貼って渡した。事前に文章は作っていた。見てもらったらシールを張った。効果があるかはわからないが伝わればいいと思いながらやっている。
- ・フィードバックがどうしても長くなってしまい時間配分が難しい。フィードバック以外の所で削れるところは削りながら、時間の枠に納められるようにしている。
- ・一番印象に残っているのは「アテンディングがよかった」と言う声が多い。参加者からの疑問で家でアテンディングの開始の仕方がわからないとの声もある。
- ・里親さんのモチベーションを上げるのが大変。相手の事をほめるのは得意だが、自分のことを褒めることが苦手な人が多い。中間で表彰式、カードを作ってみんなで褒め合うことを大切にしていた。控えめな人が多かったために。
- ・プログラム後にごはんを食べに行くこともあった。FCP を受けた里親さんが、里親さん仲間に FCP が良かったと伝えていた。里親サロンなどでも広報できるように今考えている。

➤ 山梨県

- ・公募がなかなかできなかった。この方に受けてもらいたいという人を挙げて、家庭訪問をしてお誘いした。
- ・お金が出ないために児相の会議室を無料で借りて行った。児相の所長がお菓子作りが得意で差し入れがあった。
- ・アフターセッションでは近況報告→問題行動に焦らずにかかわることが出来たとの声。フラワーパワールの振り返りを行なった。DVD を見ながら説明した。セッション後の気持ちの振り返りも良くできた。一名の男性の参加で頑固な方が、「里子がなかなか変わらない」と困っていたが、「子どもが変わる前に自分が変わらない」という話が合った。それがプログラムの成果だと思っている。
- ・山梨は FCP のお金がでない、今年も出ないと話が合った。既存の里親にプログラムに誘われないとの声が、隠れて行っているようになってしまっている。来年のメンバーをどう声を掛けていくか不安が残る。児相ではなくて地域でできればと思っている。

➤ 静岡市

- ・29 年から第一期開始。フォローアップ
- ・5 月～FCP 開始。個別に面接。フォローアップセッションを予定している。
- ・29 年度の取り組みについて。フォローアップセッションも行った。29 年度生に自主開催を提案。アシスタントとして参加したらどうか、当番制で一人 1・2 回。満場一致。
- ・実施が決まると自主的に集まって当番表を作ってくれていた。
- ・29 年度生里親の声。2 度目に冷静に見ることで、頭に入ってきた。理解力も高まった。周りに支えられていたと思った。1 回目理解できなかったことも 2 回目の理解度が高い。前回の受講者が次の FCP を手伝うと自然と決まり、1 回のセッションで 5 人ほど来てくれていた。
- ・グループワークが苦手と途中でリタイア。29 年度生から一人参加し、6 人で行なうようにした。グループワークの特色が強い。グループというよりも個々になってしまっていたが、29 年度の方が入ることによって 30 年度生の良さを引き出すようになり雰囲気もがらりと変わり柔らかくなってきていた。意見もやすくなった。

- ・「子どもの出来ない事を見つけることが出来なかった、さらけ出すことが必要、ベテラン里親も悩むことが多いと気づいた、こんな発言してもいいんだ」30年度生。
- ・アフターフォロー面接。(二時間ほど?) 最近行った。近況報告、一つ今日から意識して使う方略、面接記録を一枚程度で作っている。
- ・時間を気にしすぎている。里親の生活もあるが、子どもに押し付けない、スキルを使う→ストッププラン&ゴー?
- ・使うことが出来るスキルや、アドバイスを伝えている。
- ・里母に共通するポイントは問題行動がいつ起きるか理解している。方略を使う使わないことは別として引出を持っていることが大切。里親のスキルを積み上げて理解している。

➤ 横浜市

- ・ファシリテーター3名、アドバイザー1名。
- ・公募したら10名の申込みで、絞って8名で。思い悩みを抱えられている方が2名で、他は少しの悩みがある程度。勉強熱心の方が多い。宿題にもしっかりと取り組んでおり、3回目の時には前向きな雰囲気があった。
- ・7回目でスケジュール表を配って、これから行っていく内容を表にして渡した。
- ・選択的無視、問題ないのに無理にやっちゃっているところがあったために、いつどのように使うのかわかりやすく資料にして配布した。
- ・タイムアウトも使うところも抵抗がある人も多く表を分かりやすくして配布した。
- ・FCP里親サロンの時に伝えてくれる人が多く評判が良い。
- ・来年も公募を考えているが、年齢が高い児童に対しての里親さんにもと考えている。

➤ 福岡市

- ・災害時の対応方法が今後の課題
- ・里親が苦戦した場面を発言した方が、「自分もそうだった」と共感してくれて雰囲気がよかった。
- ・評価を参考に
- ・アフターセッションの開催について。9月1月2月。各グループで行なうことに余力がない。三回目の方たちだけで行ってもらったり、一緒に行なうことは事前に伝えていた。いろんな形でアフターセッションを考えている。事前に伝えることで日程調整もできる。

➤ 三重県

- ・児相で行っている。
- ・募集は希望者を募って、児相と協議
- ・できるだけ補助者に模造紙を書くのは行っている。
- ・基本的に録画をして、振り返りをしながら参考にしている。
- ・荷物が多くなってしまったために、なるべく早くハンドアウトは配っている。
- ・正直にうまくいかなかったことなどは話してくれている。
- ・随時質問はあるが、できるだけ区切って聞いている。時間が限られているので時間配分が難しい。
- ・グループの輪もあり、欠席される人が居ると「寂しい」と
- ・シールは最初は喜んでくれるものの、だんだん感激が薄れてくる。季節のシールや発言のなかに「お酒

が好き」と言う人にはビールのシールを。

- ・年度内でフォローアップを行なう予定。
- ・グループワークの時間が短いと意見が。ファシが話す時間を短くしていた。
- ・アテンディングも家での実践の効果があり好評。即時で効果が出たと。
- ・セッションで感極まって泣いてしまう人がいたが、グループの雰囲気。素直に自分をされけ出してくれていると感じた。
- ・セッションを重ねていくとだんだん時間を要する。質問が多く出てきているために長くなってしまいう事も。休憩時間を短縮したが、休憩の時間に里親同士が交流する場面を見て極力削りたくないと感じた。

➤ 東京都

- ・二葉乳児院が「里親フォローアップ研修」事業を受託で、FCP もその一つとして
- ・去年は4か所で、今年には都内全域の公募で500人程に声を掛けている。
- ・飲食スペースを設けたが、初回は使われず。積極的に声を掛けた。
- ・スキルをどう使うが悩まれる方が増えてきた。特にセッション7「ご褒美」家庭での意識が緩く、家庭での実践がなかなか出ない方には電話でフォロー
- ・参加者には明るく参加する方やどんよりしている方もいる。どうフォローしていくかが課題だと思っている。
- ・自分自身が使えるスキルに気づいて、ファシも褒めるようにしている。
- ・子どもにエネルギーを注ぎすぎていた。子どもの暴言に今まではすぐに怒っていたがスキルを活用して対応が出来たと。学校で落ち着いてきたという先生からの報告もあり。
- ・子どもの問題行動に夫婦間に温度差がある。すべての問題が食事にしてしまう人も。夫婦で参加されると夫婦仲がぎくしゃく。夫婦参加の対応を聞きたい。

➤ 長野県中東北信地区

- ・参加者の中に、里子の年齢が17歳という方がいて、事前家庭訪問でスキルが合わないかもしれないことをお伝えしていたが、実際に始まると、家庭での実践で悩まれていた。又その方の自信の課題もあり、途中辞退となる。フォローの難しさを感じた。
- ・シールを拒まれたことに対しては、シールから飴に変えて対応。近い距離で渡されることへの抵抗も強い。今後もいろいろなケースが考えられるので、その都度検討しながら、その人のニーズや課題を分析しつつ、丁寧にフォローしていく必要がある。又無理に参加を促さないように、家庭訪問での説明も丁寧にしていきたい。

➤ 長野県中南信地区

- ・年齢によってすぐに使えないスキルがあっても「今は使えないかもしれないけど、大きくなった時に使えるかも」と前向きに受けてくれている。
- ・十分にできているスキルだから必要ないという人もいたが、それぞれ自分で判断して行なってくれている。
- ・人前でシールをもらうことでのプレッシャー。人前で話すことが難しい。人に褒められることにトラウマがある。ロールプレイやりますというメモを事前に渡していた。それを数回した後に、トラウマの話をグループの前で話してくれた。メモはその人が大丈夫と言うまでは渡す予定でいる。

- ・高齢の方だと横文字に戸惑う方も。わかりやすく表をしめしてホワイトボードに張り付けていた。
- ・お金の出し方はどうしているのか、経済的な負担。

➤ 千葉県

- ・公募で昨年落ちてしまった方が、今年受けることが出来て喜んでいる方も。
- ・千葉県で里親登録で今茨城で生活している方が受けに来てくれた方も。
- ・一期性の方が「もう一度受けたい」と言ってきた方がいて、ボランティアで来てくれた。
- ・評価表に自分の出来てなさを反映してしまう里親さんも
- ・選択的無視が、夫婦で上手にできない。

➤ 岐阜県

- ・まだ具体的には予定は立っていない
- ・県の児童虐待対策課の方へ松崎先生から話してくれて、施設の職員や児相の職員に話ができると良いなと思っている。

○質疑応答

☆受講する里親の人数12人で無理はなかったか？

→最長12分押しはあった。里親さんもコンパクトにまとめてくれていた。里父さんの参加が多かった。

訪問まで里父が参加することが知らなかったために丁寧にしていく必要がある。限界はファシが決めること必要。偶数が良い。

- ・6人でやっている地域が多いが、欠席を考えると6人は少ないかも。ファシとのやりとりではなく、里親同士の関係も必要になるために、多めの人数設定が必要。

- ・年齢の設定について、

思春期でのずれもあるために、思春期でも使えるようにしていきたい？

- ・4Sの仕事との兼務について

千葉では4Sは制度説明を月1で行っている。オレンジリボンや虐待防止などでスケジュールがカツカツ。FCPを開催する時期を考えて設定しないと難しい。県内でファシリテーターが増えたら、中心に役割を決めていきたいがそこまでは間に合わない。県が理解しカバーしていくことが大切。リクルーターも4Sをやっていくことは多忙すぎる。リクルーターが配置されれば

- ・ファシのローテーションについて

福岡は最初は二名。他が補助やロールプレイとして参加。

丸ごと変わるのではなく、2回連続で一階ずつ交代していく感じで。

疑問に思った瞬間は、他の人が入るのではなく反省会で挙げていくことが必要。担当ではない人は入らないように。基本前に出ている2名で運営できるように。

次のフィードバックの時に気になったところを上げていく。

- ・準備をする時間が業務内ではおさまらない。基本時間外勤務。
- ・シナリオを作っているために、基本的に物の準備をしている（千葉）
- ・13時からセッションの振り返り、14時から次回の担当分担を決めて、スライドを見たりし確認作業をお行なっている。スライドを見ながら役割分担を決めている。フリップチャートのタイミングを記憶を起こしながら確認している。当日9時に集合をしてロールプレイの練習をしている。（福岡）

- ・一年目は大変。ずっと残業をしていた。特に見相は人が変わるために、引き継ぎが必要。

○その他

- ・今後の予定、コンサルテーションデイについて
- ・事務局の今後の見通し、プログラム評価質問に関する分析の中間報告。

